

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【公開番号】特開 2004-120074 (P2004-120074A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 15 日 (2004.4.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-015
 【出願番号】特願 2002-277299 (P2002-277299)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/907

H 0 4 N 5/91

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/907 B

H 0 4 N 5/91 J

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 17 日 (2004.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮像装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像手段と、

前記撮像手段によって撮像された画像データを記憶媒体へ記憶する記録手段と、

前記記録媒体への画像データの記録中および前記撮像手段による撮像中にその旨を使用者に報知する報知手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

撮像手段と、

前記撮像手段の撮像条件を設定する撮像条件設定手段と、

前記撮像手段によって撮像された画像データを記憶媒体へ記憶する記録手段と、

前記記録媒体への画像データの記録中にその旨を使用者に報知するとともに、前記撮像条件設定手段によって所定の撮像条件が設定させる場合に前記撮像手段による撮像中にその旨を使用者に報知する報知手段とを有することを特徴とする撮像装置。

【請求項 3】

前記撮像条件設定手段によって設定される前記所定の撮像条件は、長秒時撮影またはバルブ撮影であることを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記報知手段は表示素子によって使用者に報知されるものであって、前記記録媒体への画像データの記録中の表示と、前記撮像手段による撮像中の表示とでは、前記表示素子の点灯周期が異なることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記報知手段は表示素子によって使用者に報知されるものであって、前記記録媒体への画像データの記録中は前記表示素子による点滅表示を行い、前記撮像手段による撮像中は前記表示素子による点灯表示を行うことを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記報知手段は表示素子によって使用者に報知されるものであって、前記記録媒体への画像データの記録中の表示と、前記撮像手段による撮像中の表示とでは、前記表示素子の点灯色を異ならせることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の撮像装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、デジタルカメラ等の撮像装置の表示に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上述の目的を達成するために、本発明は、撮像手段と、前記撮像手段によって撮像された画像データを記憶媒体へ記憶する記録手段と、前記記録媒体への画像データの記録中および前記撮像手段による撮像中にその旨を使用者に報知する報知手段とを有することを特徴としている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、撮像手段と、前記撮像手段の撮像条件を設定する撮像条件設定手段と、前記撮像手段によって撮像された画像データを記憶媒体へ記憶する記録手段と、前記記録媒体への画像データの記録中にその旨を使用者に報知するとともに、前記撮像条件設定手段によって所定の撮像条件が設定させる場合に前記撮像手段による撮像中にその旨を使用者に報知する報知手段とを有することを特徴としている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 8】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 0 9
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 9】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 0
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 0】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 1
【補正方法】 変更
【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、前記記録媒体への画像データの記録中および前記撮像手段による撮像中にその旨を使用者に報知することで、撮影中であることを使用者がすぐ判断でき、撮影中の使用者による誤操作を防止することができる。

【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】

【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 4 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】